

ほっかいどうの社会保障

2010年2月5日

北海道社会保障推進協議会

「平成21年度第3回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会」傍聴報告

2月4日に、道広域連合運営協議会が開かれました。今回の協議会は、2月19日に行われる広域連合議会に先立って開催されました。会議の内容についてお知らせします。

議題は、後期高齢者医療制度の事業実施状況、平成21年度補正予算、平成22年度予算、その他の四つですが、議論は平成22年度予算に集中し、そこで次期保険料案が示されました。

北海道の次期保険料は、4.99%増！ 均等割額44,192円、所得割率10.28%に

《議題3、平22年度当初予算案について》

【事務局からの保険料についての報告概要】

- ・次期保険料率について、2月19日の議会に以下の案を提出する。

均等割額	44,192円(現行43,143円、2.43%増)
所得割率	10.28%(現行9.63%、0.65ポイント増)

- ・保険料算定の根拠

費用の見込み(2年分) 1兆3,640億円

収入の見込み(〃) 1兆2,447億円

《内訳》国・道・市町村負担金 6,710億円

現役世代の支援金 5,637億円

保険料引き上げ緩和策

剰余金活用 32億円

財政安定化基金繰り入れ 68億円(道と協議中)

*註～保険料の上昇を抑えるために、剰余金と財政安定化基金の積み上げ繰り入れで100億円を充てた。

- ・上記の費用・収入の差額に保険料収納率(99%)を加味した額、1,205億円を次期2年間の被保険者数で除した額が一人当たり保険料(軽減前)となる。

一人当たり保険料額 88,383円(H21年は84,162円、5.02%増)

(均等割：所得割=50：50)

*註～この金額の半分が均等割額44,192円になる。

- ・以上の結果、8.5割軽減・9割軽減などの軽減後の保険料は、

一人当たり保険料(軽減後)	65,319円(H21年62,217円、4.99%増)
---------------	-----------------------------

例) 年金収入200万円 59,500円(H21:57,144円 +4.12%)

8.5割軽減 6,600円(H21:6,300円 +4.76%)

委員とのやりとり

● 新しい政権になって、廃止になると思っていたら先送りになり、保険料をあげないと言っていたのに約5%も上がり裏切られた思いだ。所得割率は、下げると均等割が高くなり、低所得者に負担増になるという矛盾があるが、10.28%はサラリーマンに比べても高い。保険料を上げないために何とかならないのか。また、他の広域連合の状況はどうか。



他の広域連合も正式に決まっていなくて多いが、およそ50%が引き下げか据え置きで、残りが上がる方向。財政安定化基金の積み増しをする連合は北海道、東京、愛知、大阪の四つ。

所得割率は、被保険者の所得が下がっているのだから上げざるを得ない。連合には自主財源がないので、他から持ってくるしかない。基金の積み増し68億円は努力した結果。

・平成22年度の新規施策として以下の対策を議会に提案する。

- | | |
|----------------------|------------|
| ■いきいき健康増進事業 | 《10,991千円》 |
| ■レセプトデータ・ネットワーク化事業 | 《36,400千円》 |
| ■健診受診率向上支援事業 | 《700千円》 |
| ■健康管理普及啓発事業 | 《6,000千円》 |
| ■保険料収納率の向上（納付相談支援事業） | 《2,000千円》 |
| ■やさしい申請手続き推進事業 | 《8,000千円》 |

委員とのやりとり（各委員から集中して意見が出されました）

- この対策案は、高齢者が細々と生きながらえる対策としか思えない。新陳代謝を高める取り組みに金をかけるべきで費用対効果はない。
- レセプトデータを市町村に提供するのは医療機関への受診抑制につながる危険性がある。
- レセプト提供は効果があるとは思えない。
- 健康増進は、かかりつけ医・主治医の役割だ。
- 健康増進は、後期医療という狭い範囲だけでやるのではなく地域包括センターなど様々なネットワークの中ですすめるべきだ。
- 低い健診率は、北海道の気候条件の厳しさもある。身近なところで受診できる対策が必要だ。
- 健康管理の冊子を作るとあるが、既版のものを活用してはどうか。
- 経費削減等で生み出したお金なので、有効に活用することが大事ではないか。そもそも予算の割り振りがおかしい。
- 高齢者は所得が低く、中には保険料が払えない人がいる。金をかけてまで収納強化を行うのか。対象は短期保険証を交付されている人になるのではないか。
- これだけ意見が出たのだから、19日の議会には違う提案が出るんでしょ。

《議題4, その他》

【事務局からの報告概要】

・住民説明会を1月は8市で行い、1,900人の住民が参加した。このあと約50ヵ所で開催する。会場でのアンケートが157人分集まった。

委員とのやりとり

- 住民説明会で様々な意見が出されたと言うがどういう意見が出たのか。今後の制度のあり方を考えていく上でも貴重なものだ。出された意見を詳しく知らせて欲しいし、今度の議会に向けては少なくとも議員に伝えるべきだ。

以上

北海道広域連合議会を傍聴しましょう

日時：2月19日(金)13:00~

場所：WEST19 5階（大通り西19丁目）

札幌市夜間急病センターのビルです。

道広域連合議会に対して陳情書を提出しました

2月2日、北海道社保協は、広域連合議会議長に宛てて「平成22年度・平成23年度の保険料に係る陳情書」を提出しました。

北海道の次期保険料が約5%（陳情書提出時は8%）の増加となることを受けて、国および道に対して更なる財政安定化基金への積み増しを求め、独自の国庫補助を実施させることで保険料を下げよというものです。

要望項目は、以下のとおりです。

- (1) 次期保険料の値上げを行わないために、あらゆる手だてを講じてください。
- (2) そのために、道および国に対して財政安定化基金への更なる積み増しを求めて下さい。
- (3) 国に対して、特別な国庫補助を行うように要請してください。
- (4) 以上の措置により、年度途中での実施も含めて、保険料を引き下げてください。

議会当日は、吉岡事務局長が趣旨説明を行います。